

茅野市ボランティア・市民活動センター情報紙

NO.231

発行 茅野市社会福祉協議会
ボランティア
・市民活動センター
☎ 73-4431



たまご

2012年2月1日

ご協力 ありがとうございました

— 平成23年度『ひとにぎりのお米（支援米）』報告 —

今年度も3トン弱の「ひとにぎりのお米（支援米）」を市民の皆様よりご提供いただきました。お預かりしたお米は、県内外の野宿生活者等を支援されている団体のほか、東日本大震災の発生を受け、岩手県宮古市の仮設住宅で生活されている方々や、茅野市に避難をされている世帯にもお渡ししました。

次ページに、支援米をお渡しした団体等から届きましたお礼状をご紹介します。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



宮古市の仮設住宅へ①



宮古市の仮設住宅へ②



大阪へ届いたお米(NPO法人おおぞら提供)



SOSネットワークすわ



支援米の運び出し



12/21茅野市の避難世帯へ



新宿区炊き出し(山谷農場提供)



集まった支援米

支援米合計 2744.6kg 《提供者内訳 グループ等 23団体 個人 70名》
送り先 山谷農場(東京都)[690kg] NPO法人おおぞら(大阪府)[587.2kg]
SOSネットワークすわ[485.4kg] 岩手県宮古市赤前仮設住宅[603kg]
市内避難者[330kg] 市内生活困窮者[49kg]

東日本大震災から考える

これからの私たちにできること

3.11東日本大震災では、甚大な被害を受けた被災地に、茅野市から多くの災害ボランティアが駆けつけました。

被災地復興には長期が予想され、今後、被災地で求められるボランティア活動には、被災者の生活支援・生活再建に関わる継続的なボランティア活動が必要だと言われています。

震災から10カ月が経過した今、被災地の復興に向けて私たちができる「これから」を探ることを目的とし、本企画を開催します。

と き 2月26日(日) 13:15～16:00

ところ 茅野市民館 コンサートホール

対 象 関心のある方なたでも 定員300名(入場無料)

内 容 ① シンポジウム(災害ボランティア活動者、宮城県石巻市雄勝支所職員 他)

② 講演会(福島県からの避難者)

③ 茅野市社協 災害ボランティア活動のパネル展示

問合せ 茅野市社会福祉協議会 (電話 73-4431)

詳細は、ホームページをご覧ください <http://www.sharara.or.jp>

ココロを軽くする『いこいの集い』

日頃ご家庭で介護されている皆様が、心身のリフレッシュと介護者同士での情報交換をおこない、今後の介護の活力としていただけるよう、家庭介護者“いこいの集い”を開催いたします。大勢のご参加をお待ちしています。

期 日 平成24年2月24日(金)

行 き 先 蓼科温泉 ホテル親湯

参 加 費 一人 1,000円 (当日受付にて集金)

参加対象 ご家庭で介護されている方／定員：45名

申 込 み 茅野市社会福祉協議会 地域生活支援係まで、電話でお申し込みください。
《電話 82-1328》

そ の 他 会場まで送迎をいたします(参加申込者には後日詳細を連絡いたします)。
定員を超えた場合は、初めて参加される方を優先させていただきます。



支援米を送った団体より、お礼状が届きました

前略 このたび当地を襲った東日本大震災に際しましては、心温まるお見舞いをいただきまして、ありがとうございます。い

ました。あの忌まわしい大震災から、早いものでもう9ヶ月が経ちましたが、仮設住宅の集会所では、時折いろいろな催し物が行われ、地域の皆さんも、自発的に協力・参加し、和やかな雰囲気とともに笑顔も広がるようになりました。

おかげさまで、いただきましたお米は、みんなの協力の元、各家庭に配分させていただきました。

お礼が大変遅くなり、申し訳ありませんでしたが、ご報告がたがなお礼申し上げます。

草々
平成23年12月25日 岩手県宮古市赤前仮設住宅 自治会長 佐々木平一郎

12月21日の避難者の会におきまして、お米とお花を頂きまして本当にありがとうございました。

私たち家族はまだまだ通常とは行かないまでも、花を見て綺麗だと思える気持ちと、普通の生活に近づきつつある実感を深めております。

今まで私たちが暮らしてきた福島県浪江町は今も帰れるか帰れないのかははっきりしていません。また、除染が始まったと言っても実験段階ですので、いまだに故郷は復興では無く復旧と言うスタートラインにも立てていない空しさもあることは事実です。

この度、ご縁がありこの地で暮らし、子供たちが伸び伸びと育っていく姿を見ると、本当にこちらに避難して良かったと思います。また、皆様のお力添えにより生活が成り立っていることは非常に力強く、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

避難者 代表

10年にわたって失業者のことに関心を持ち続け、お米を出してくださった多くの方に改めてお礼を申し上げます。「他人と比べる、勝ち負けを競う、かなき者を責める、人間を使い捨てる。ゆきすぎた市場主義の思想から抜け出さなければ、心の平安も経済の好転もない」全国紙の編集委員を務める知人から届いた賀状にしたためてあった一言が、とても心に残りました。カネがカネを生み出す架空経済がどれだけ实体经济をむしばみ、失業者を路頭に迷わせたことでしょうか。

ことしは国連が定めた国際協同組合年。社会的不公正の是正や「買い物難民」の問題を協同の力で乗り越えていく、というものです。佐久市でも協同組合による失業者の仕事おこしとして弁当販売の事業に乗り出したところ、です。

「自分一人の夢でなく、多くの友の夢がほしい。だんだんにざやかになってくる夢を見るのは楽しみである。夢を育ててゆくのは楽しみである」(羽仁もと子「新年の夢」) 協同による夢が夢で終わらないよう、わたしも関心をもち続けていきたいと考えています。

山谷農場 主宰 藤田寛

岩手県宮古湾の漁港で栄えていた赤前、半農半漁の方が多くいた津軽石地域は、昨年3月の大津波で一瞬にして、全てが破壊されました。漁港はまだ鉄骨がむき出しのまま残り復旧はまだですが、それでも少しずつ船の数が増え、働く人々の姿が見られるようになりつつあります。しかし田畑の方はまったく米も野菜も作れず、赤前仮設住宅から黄金の稲穂の波を今年は見ることができませんでした。いつになったら再び稲作ができるようになるのでしょうか？

私達「おおぞら会」の4回目の赤前仮設でのボランティア活動中の12月14日、皆さんからの603kgもの支援米が届きました。「お米を頂けるんだって…」と住民の皆さんの声を耳にしました。茅野でご苦労の中収穫されたお米に托されたあたたかい励まし、の心をも受け取られました。

大阪にも12月24日、587kgの支援米が届きました。一年を通して毎日、或いは毎週炊き出しをしている団体やテント生活者巡回訪問チームが支援を受けました。「ひとにぎりのお米」を呼びかけて下さった社会福祉協議会、お世話して下さったボランティアセンターの皆さん、本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

NPO 法人おおぞら 大川記代子

※「NPO 法人おおぞら」は、震災以降、岩手県宮古市で支援活動を実践されておられます。

「いい年を迎えようね」「来年も頑張ろうね」…『SOSネットワークすわ』は、年の瀬を目前にした12月26日、平成23年最後の相談会を開催しました。ちょうど100回目という節目の相談会で、この活動を始めて4年余りの歳月が経過し、相談者の数は延べ1200名を超えました。この相談会の10日ほど前に、茅野市社協から1トン近いお米と野菜など沢山の物資をいただきました。当日は、会場に来られた方々一世帯あたり10kg近いお米と野菜を分けることができ、いざという時、万が一の時のより所になっていることを実感しています。相談内容の様変わりにも果敢に対応しながら、相談者が会場を後にする時、そこに希望と安心の笑顔がある限り、この活動を続けて行きたいと思えます。

茅野市社協の活動に参加され、ご協力いただいた全ての皆様に、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

SOSネットワークすわ 事務局長 上原和喜



情報ネットワーク

2月 主な予定

(総合福祉センター使用団体・市民活動センター事業)

- 第1・3(月) かにさん(収集整理V)
- 第1・3(金) まほうのことば(手話学習V)
- 第2・4(火) 要約筆記ひまわり(要約筆記V)
- 星の会(点訳V)
- 第2・4(水) 手話ダンス千の風(手話ダンスV)
- 第2・4(金) どさゆさ(演歌体操V)
- 第2・3・4(金) エンジェル絵手紙の会(絵手紙V)
- 毎週(金) すずめのお宿(いきいきサロン)
- 2日(木) 傾聴パートナーあ・うん(傾聴V)
- 7日(火) 腹話術友の会
- わかばフットネス
- 8日(水) どっこいしよ喫茶(どっこいしよ広場)
- 9日(木) 地区ボランティアコーディネーター連絡会
- 10日(金) ボランティアグループ四葉
- 13日(月) シアララはつとサーピス運営委員会
- 14日(火) 押し花なでしこの会
- (仮) 園芸ふくしグループ
- 15日(水) わかばフットネス
- ボランティア・市民活動センター運営委員会
- 17日(金) 要約筆記講習会
- 18日(土) 街かど探検隊ずっく
- 21日(火) R for I
- 25日(土) 歌の集い(どっこいしよ広場)
- 四葉 こども福祉教室
- 26日(日) しあわせの喫茶店しやべるる
- シアララレッツ(市民館コンサートホール)
- 27日(月) ひざしの会(テープ吹き込み)
- 29日(水) わかばフットネス

予告 『ボランティアグループ 説明会』

- (日時) 3月8日(木)
- (昼の部) 午後2時から (夜の部) 午後7時から
- (会場) 茅野市役所701・702会議室
- (内容) ①会場・備品の借用方法
- ②ボランティア保険 ほか

※詳細は次号でお知らせします



—文字で伝えて耳代わりに—

募集！ “要約筆記” 講習会のお知らせ

耳の不自由な方で、手話でコミュニケーションをとれる方は、十数%と言われています。要約筆記は、手話がわからない聴覚障害者や高齢者の方に、聞き取った話の要点をその場で書いて伝える通訳方法です。

災害時にも、情報を伝えるためにとても重要な通訳です。要約筆記を利用してみたい方もぜひご参加ください。

- 日時 2月21日(火) 午後1時～3時
- 会場 茅野市総合福祉センター3階 第1会議室
- 内容 ○聴覚障害とは？ ○要約筆記の役割
- 聞こえない疑似体験 ○聴覚障害者のお話
- 文字で会話してみましょう！
- 申込み 2月17日(金) までに、社協ボランティア・市民活動センターへ電話またはFAXでお申し込みください。
- TEL 73-4431 FAX 73-8030
- 主催 要約筆記グループひまわり
- 共催 茅野市社会福祉協議会



今年も

チャリティーカット

を開催します！

毎年開催している『チャリティーカット』を今年も行います。

ご希望の方は、事前にご予約をお願いします。

- (日時) 2月19日(日)
- 午前9時から午後4時まで
- (料金) 子どもから大人まで
- お1人1,000円(カットのみ)

(会場/問い合わせ先)

- 美容室 イッピー
- でんわ 82-1582
- 茅野市中沖5-13
- (ステーションパークの南)



職員募集

事務局長(嘱託)

市内に居住し、福祉21ピーナスプラン(茅野市地域福祉計画)に基づき行政と社協が両輪となって進める地域福祉の推進及びボランティア活動支援に熱意があり、パソコン操作ができ、車の運転ができる方。

経営及び運営等の総括管理を行う。

○募集人数 1名

コミュニティソーシャルワーカー(嘱託)

市内に居住し、地域福祉やボランティア活動推進に、熱意を持って取り組むことができる明るい方、パソコン操作及び車の運転ができる方。(社会福祉主事資格があればなお良い)

高齢者等のお宅を訪問して相談支援にあたる。地域で行われる福祉に関する会合等に出席し地域福祉活動の支援を行う。

○募集人員 若干名

- 雇用 平成24年4月1日から
- 申し込み締切 平成24年2月20日(月)

募集内容の詳細については、茅野市社会福祉協議会 総務・企画係(TEL73-4431)までお問い合わせください。